

②課題

「自転車が似合うまち」の実現に向けて改善すべき課題を次のように整理しました。

- 課題1. 歩行者・自転車の安全性の確保
- 課題2. 適正な交通手段の選択
- 課題3. 中心部の利便性の確保
- 課題4. 健康寿命の延伸
- 課題5. 来訪者・観光客による賑わい創出

(2)基本方針と施策展開の柱

課題を踏まえて5つの基本方針を設定しました。それらに基づき、4つの柱で施策を展開します。

基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全・安心な自転車利用環境の構築 2. エコで円滑な短距離移動の推進 3. 自転車を活用した回遊促進 4. 健康づくりの推進 5. 自転車を活用した地域資源の活性化
柱	<p>「はしる」自転車ネットワーク整備</p> <p>「とめる」駐輪環境整備</p> <p>「まもる」意識啓発活動</p> <p>「いかす」利用促進活動</p>

(3)施策の展開

①はしる「自転車ネットワーク整備」

歩行者の安全性を重視し、歩行者と自転車の通行位置を分離した形態で自転車通行空間の確保を図ります。自転車は車道の左側通行を原則とする整備に取り組みます。(図2) なお、歩道幅員が広い中心市街地の道路においては、沿道施設へのアクセスを考慮し、自転車歩行者道の車道寄りの整備に取り組みます。(図3)

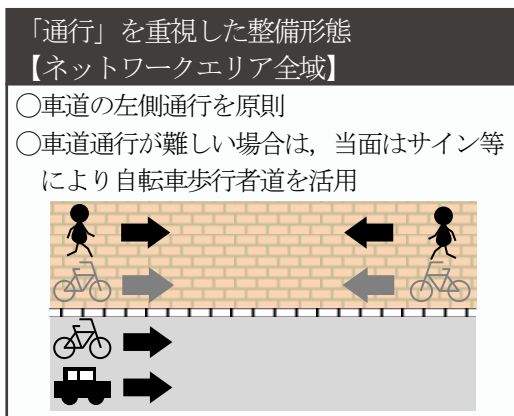


図2 エリア全体での整備イメージ 注1

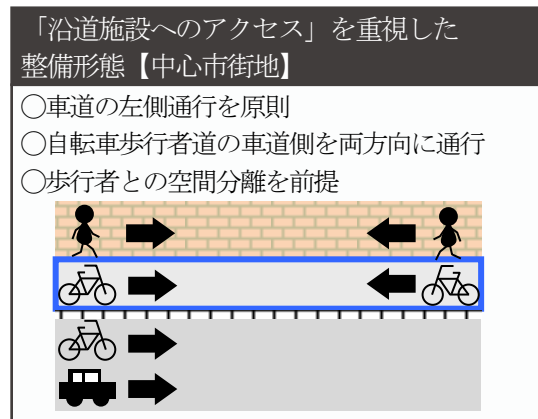


図3 中心市街地での整備イメージ 注1

自転車通行空間の整備にあたり、交通量や自転車事故の発生状況、自転車の移動実態を基に利用目的別(通勤・通学・日常生活・観光)に路線を抽出すると共に、地元や学校等の関係者の意見や施設の位置、ネットワークとしての連続性を考慮し、延長89kmの整備路線を選定しました。(図4) なお、早急な整備が困難な路線は簡易な手法での整備や迂回路の選定、代替路線の設定等を行い、ネットワークの確保に努めていきたいと考えています。

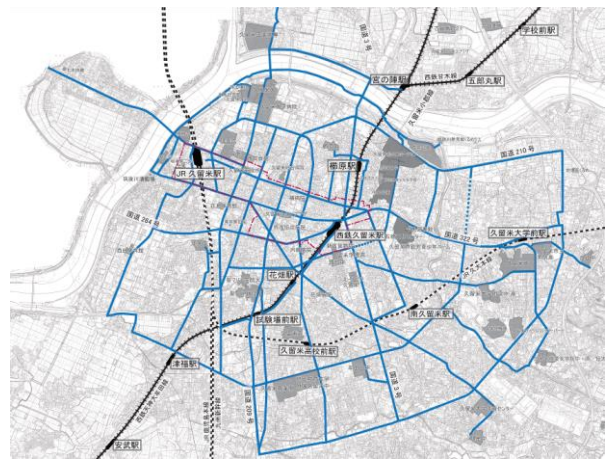


図4 市中心部の自転車ネットワーク路線 注1

②とめる「駐輪環境整備」

安全・安心な歩行空間を確保し、自転車の利便性を向上させ回遊を促進するため、放置自転車の解消に取り組みます。(写真1, 図5) また、公共交通と連携して広域的な移動利便性を向上させるため、公共交通結節点での駐輪環境の整備を図ります。さらに、目的地に安心して駐輪できるよう、駐輪環境の改善に努めます。(写真2)



写真1 駅前広場の放置自転車の現状 注3



図5 エリア別の放置自転車の対応 注1



写真2 民間商業施設の駐輪場 注1

③まもる「意識啓発活動」

交通安全教室やイベントでの意識啓発活動等に取り組み、子どもから高齢者まで年齢層に応じた意識啓発を進めます。(図6) また、自転車利用に関するルールづくりやセーフコミュニティと連携し、ルール遵守やマナー意識の向上に努めます。

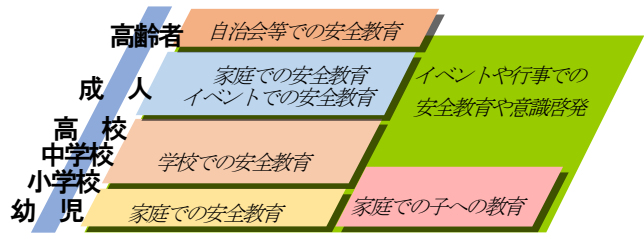


図6 年齢層に応じた意識啓発活動イメージ 注1

④いかす「利用促進活動」

自転車利用が「楽しい」「おしゃれ」というイメージアップを図ると共に、自転車に乗るきっかけとなるイベントを行うなど、日常的な自転車利用の推進に努めます。さらに、Web等を活用した情報発信を行い、「自転車が似合うまち くるめ」の認知度向上に取り組みます。また、コミュニティサイクル利用の促進や自転車利用環境を構築し、気軽に自転車で回遊できる仕組みづくりを推進します。(図7)

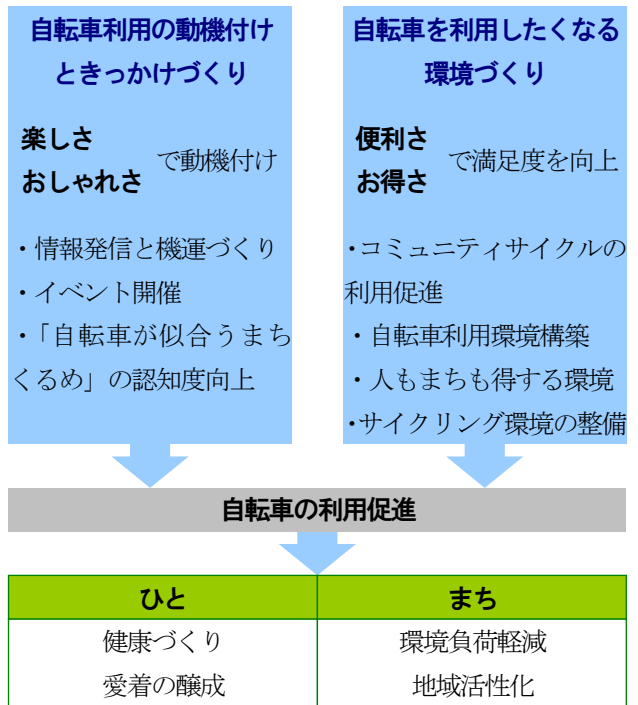


図7 利用促進活動のイメージ 注2

(4)計画の数値目標

	現況	目標
交通分担率	9.8%	11.7%
事故件数	171件/10万人	133件/10万人
ルール遵守率	69.3%	90.5%

3. 自転車の利用促進に向けた取り組み事例

(1) 自転車通行空間の整備

中心市街地において自転車歩行者道の車道寄りに自転車通行空間を整備しました。(写真3) 他の路線においても引き続き同様の整備を進めています。



写真3 けやき通りに整備した自転車通行空間 注3

(2) 自転車交通安全の啓発

街頭でのチラシ配布等を行い、安全運転や放置自転車禁止の啓発活動を行っています。(写真4)



写真4 自転車利用者への街頭指導 注1

(3) コミュニティサイクル「くるくる」の利用促進

平成27年6月より、コミュニティサイクル「くるくる」の運用を開始しました。イベント等による利用促進活動に取り組んでいます。(写真5)

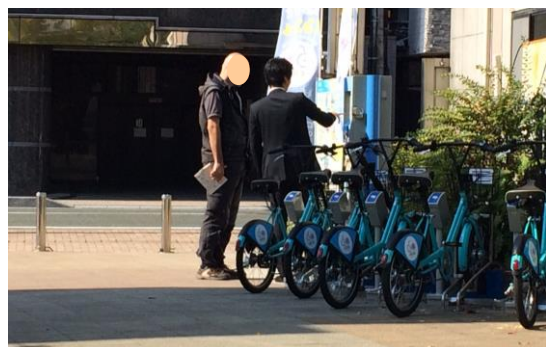


写真5 外国人観光客のくるくる利用 注3

(4) 市民と協働した利用促進

① まちづくりイベントでの利用促進

市民グループと連携して地域主催のまちづくりイベントで自転車利用促進に取り組んでいます。(写真6)



写真6 地域のイベントでの利用促進 注3

② 有志の市職員によるまちづくりイベント参加

有志の市職員のグループが地域主催のまちづくりイベントに地域活性化の自主活動の一環として参加し、自転車の利用促進活動に取り組んでいます。(写真7)



写真7 市の有志職員のまちづくりイベントへの参加 注3

4. おわりに

本計画を策定するにあたりご尽力いただきました関係者の皆さまに感謝の意を表します。今後は、本計画に基づき、市民をはじめとする多様な主体との協働により「自転車が似合うまち」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

KURUME × **BIKE** = ♥ 注1

<注>

注1 久留米市自転車利用促進計画より転載

注2 久留米市自転車利用促進計画を参考に筆者作成

注3 筆者撮影

(2016年1月入稿)

第6回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

日 時：平成28年2月5日（金） 15:00～16:30

場 所：西日本ビル 507号室

出席者：外井哲志, 坂井猛, 橋本信幸, 吉武哲信, 天本徳浩, 内田智昭, 辰巳浩, 趙世晨, 堤昌文, 永村景子, 箕浦永子, 山下三平, 吉城秀治 (13名)

議事内容

1. 前回議事録の確認 (永村)
 - ・事前メール審議にもとづき, 平成27年12月18日（金）開催分の第5回会議内容を確認した.
 - ・「支部長賞について」の内容修正について説明・承認された.
2. 平成28年度新規研究分科会の結果(案) (堤)
 - ・資料に基づいて, 新規研究分科会の審査過程および採択結果について説明・承認された.
 - ・提案書②については, 研究申請者に相談の上, 了承が得られた場合に研究分科会Bで採択する.
3. 九州まちづくり賞の応募状況報告および表彰(案) (趙・吉武)
 - ・資料に基づいて授賞候補について説明がなされ, 承認された.
 - ・五島の授賞理由に関しては, 世界遺産登録に関する報道等へも配慮して誤解を招かないような表現とする.
4. 支部研究発表会について (吉城)
 - ・資料に基づいて募集要項とポスターセッション採点表について説明・承認された.
 - ・募集要項にについて, 冒頭の「試行として」, 1. 開催要領の「投票(17:00)」は削除する.
 - ・PSの審査については10件以上を努力目標とする.
 - ・印(◎・○)の区別をせず, ○のみに統一する. 平均化するか, 合計点にするか. 行ったかどうかのチェックはして, チェックした中から○印を3点選ぶ.
5. 支部長賞候補の推薦依頼の状況について (永村)
 - ・支部長賞受賞者はスケジュールの都合により, 口頭発表への参加ではなくポスターセッションへの参加を促すこととする.
6. 平成28年度支部総会および総会資料(案) (永村)
 - ・資料に基づいて, 総会資料案の説明がなされた.
 - ・役員選任について行政等は総会後に確認が必要となる.
 - ・幹事の増減は, 今年度の出欠状況も考慮して検討する.
7. 「支部だより」(3月発行分)の報告 (永村)
 - ・支部だより(3月発行分)の記事報告がなされた.
8. 「支部ニュース」(1月発行分) (趙)
 - ・資料に基づいて, 「支部ニュース(1月発行分)」が説明され, 承認された.
 - ・議事録の修正箇所のみ更新して支部会員へ配信する.
9. 会計報告 (内田)
 - ・資料に基づいて, 説明・報告がなされた.
10. 理事会報告(1月29日分) (外井)
 - ・PDCAサイクル研究成果の「可視化サイト」について, 今後の運営について, 学会本部とも調整している旨が, 橋本副支部長より説明がなされた.
 - ・学会誌特別号を会員増強に役立ててほしいとの依頼が, 本部より届いている. 坂井先生・吉武先生に配布先等を検討する.

■支部ニュースに関する問合せ・連絡先

支部ニュースに関するお問い合わせやご意見等がございましたら下記までご連絡ください. 各種イベント(シンポジウムや講演会等)のお知らせ等を掲載することも可能です. 案内文を下記までお寄せください.

【公益社団法人日本都市計画学会九州支部事務局】

TEL: 092-642-3346 FAX: 092-642-3349

E-mail: cpj-q@arch.kyushu-u.ac.jp